

あなたの「まなび」をナビゲート！ enjoy lifelong learning

ma·navi

生涯学習とっとり
vol.
187
2020.3
鳥取県生涯学習情報誌



「てま里」の中にある、だれでも自由に使える交流スペース「てまりば」
photo by Hiragi Ayako

特集

里山のくらしと、 人のあたたかみを分かち合う

てま^り里

- 04 私たちの活動をご紹介します！
城北ファミリーバンド(鳥取市)
- 05 とっとり県民カレッジ連携講座情報
(3・4月)
- 23 鳥取県家庭教育推進協力企業制度について
- 24 文部科学大臣表彰
社会教育功労者・第72回優良公民館
- 25 鳥取県立生涯学習センター(お知らせ)
- 27 みてみて♪こんなしとするで～



左から、

一般社団法人手間山の里 代表理事
 南部町地域おこし協力隊
 あいみ手間山地域振興協議会 会長

やまなか ふみお
 山中 文雄さん
 いのうえ か なこ
 井上可奈子さん
 ただ ひとし
 唯 仁司さん

手前に大きな門があり、門の扉を開けると大きな看板が！

南部町天萬にある「てま里」の外観

里山のくらしと、人のあたたかみを分かち合う

～ てま里 ～

南部町手間地区で、住民が集い交流できる場として、さらには地域のにぎわいを生み出す拠点として住民から愛される「てま里」。活動について、「てま里」を管理運営する「一般社団法人 手間山の里」のみなさんにお話を伺いました。

地域のにぎわいは、自分たちの手で

平成31年4月に南部町天萬にオープンした“食べて泊まれる寄り合い場”「てま里」。きっかけは、平成28年に一般社団法人全国学生連携機構の学生が、フィールドワークで手間地区に入り、古民家を活用したにぎわい創出を提案したこと。さらに、手間地区の住民からも「近くに気軽にお茶を飲んだり食事をしたりする場所がない。公民館は借りるには予約が必要で料金もかかることがある。だれでも自由に集え、交流できる場があれば」という声が挙がりました。そこで、「あいみ手間山地域振興協議会」※⁽¹⁾の各集落の住民代表者が集まり、検討委員会を立ち上げ、空き家を交流の拠点施設として、どんな場所にしたいのか、どんなサービスがあったらいいのか、その活用方法について一年間かけて検討を重ねました。

平成30年1月には、「地域のにぎわいは、自分たちの手で」をモットーに、「てま里」の運営主体となる「一般社団法人 手間山の里」を設立。平成30年4月には井上さんが地域おこし協力隊に着任し、地域住民の協力を得ながら自立した運営を目指します。

※(1) あいみ手間山地域振興協議会

南部町には、小学校区ごとに東西町、天津、大國、法勝寺地区、南さいはく、あいみ手間山、あいみ富有の里の7つの地域振興協議会があり、その一つ。

井上可奈子さん（南部町地域おこし協力隊）

広島県出身で、東京の大学に進学し日本語教師と英語教師の資格を取得。広島FMでイベントの企画などに携わった後、認定NPO法人 Teach for Japan を介して、埼玉県の中学校で英語を教えていました。

学生時代に、旅をしながらゲストハウスに宿泊した経験から、いろいろな人と出会えるゲストハウスを作り、そこで英会話教室を開くことで、子どもたちに多様な大人と出会わせてあげたいと思うように。



井上さんが開く英会話教室の子どもたち。ゲストハウスの宿泊者との出会いもあります！

「てま里」オープンまでの道のり

まずは、地域住民に、交流拠点となる施設を知ってもらうために芝生の水まきと芝生広場での朝食会や、カフェにどんなメニューがあったらおもしろいか、実際に考えて作ってみる会など、住民と一緒に「てま里」を盛り上げるイベントを行いました。

庭は、南部町に移住してこられた造園師の方に依頼し、元の日本庭園の風景を大事にしながらも、子どもが遊ぶのに危なくないように深い池を砂で埋めるなどの整備をしました。また、敷地を囲っていた2メートル以上もある塀を半分の高さまで低くし、その塀の上に天端瓦を張り、かけ戸も塗り替え、古民家は趣と魅力のある外観へと生まれ変わりました。

平成30年9月には、地域住民から施設の名称と想いを募集。手毬と手間地区の「てま」をとり、「てま里」と名付けられました。「手毬」は、子どもが楽しそうに遊ぶ姿とそれを見守る大人を表現。弾むような賑わいが生まれてほしいという想いも込められています。

つどう・つながる

検討委員会で住民からでた意見をもとに、ゲストハウスとカフェを運営しています。

ゲストハウスの宿泊者には、希望に合わせて、周辺地域で体験できる遊びを季節ごとに提案。時には一緒にお茶を飲んだりパーティーを開いたり、「てま里」で過ごす時間も旅の思い出になるよう「おもてなし」をします。「宿やカフェは手段で、目的は南部町の自然や人のあたたかみを世代や地域を超えて分かち合うこと」と井上さんは言います。

交流スペース「てま里ば」には、電子レンジや炊事用具が完備され、だれでも自由に使うことができ、たくさんの住民が日常的に訪れます。「てま里ば」には、住民といっしょに手づくりした大きなテーブルがあり、あたたかみのあるテーブルを囲むと、みんなが自然と笑顔になり会話もはずみます。ここでは、地元の蕎麦屋の店長さんを講師にした「そば打ち体験」や「オトナの言葉遊び」など、井上さんが住民と一緒に企画したさまざまな交流イベントが開かれています。「地域住民だけでなく、地域外の方にも南部町を訪れてもらい、南部町を好きになってもらいたい。そういうきっかけづくりをここで実現していきたい」と唯さんは言います。



芝生広場での朝食会 地域住民同士の交流が深まります！



メニュー対決！

どんなメニューがあったらおもしろいか考えて作りました。



低くなった塀に天端瓦を張りました。大阪の大学生や南部町の青年海外協力協会のみなさんもボランティアで参加

南部中学校の生徒によるかけ戸の塗り替え



※(2) 環境省は、さまざまな命を育む豊かな里地里山を、次世代に残していくべき自然環境の一つと位置づけ、「生物多様性保全上重要な里地里山(略称「重要里地里山」) 500箇所を選定。町全域で選定を受けたのは、全国でも7市町村のみ。(千葉県大多喜町、新潟県佐渡市、石川県珠洲市、能美市、長野県栄村、愛知県美浜町、鳥取県南部町)

米子市から車で約15分の場所にあり、古事記で、大国主が、兄神たちに大猪と騙され、真っ赤に焼いた大岩に潰され命を落としたが、母神と女神の力で生き返ったとされる「再生神話」の地として有名な赤猪岩神社があります。また、南部町は、環境省の「重要里地里山」※(2)に選定され、ブッポウソウなどの貴重な動植物が生息し、里地里山の風景が広がります。

南部町って

どんなところ？



南部町といえば
花回廊が有名だけど…

大切にしていることは

「ここを、子どもから高齢の方まで、すべての世代が集まり、地域内外の人と交流できるプラットホームにしながら、新しい何かが生まれる場所にしたい」と話す唯さん。「てま里」の一番の特徴は、住民の想いを具体化していく中でできた施設だということ。そして、「てま里」のテーブルを手づくりするなど、できるだけ住民が施設の整備にも携わることができるような工夫をしてきたことです。「住民が直接関わることで、この施設が自分たちのもので、自由に使うことができると住民自身に感じてほしかった」と山中さんは言います。



これから叶えていきたいこと

「普段からコミュニケーションが取れていて、何でも言い合える関係ができています。私たちはチームワークがいいんですよ」と、唯さんは胸を張って言います。

「ピザ窯を造ってみるのもおもしろいと思います。それと、今後は、買い物難民^{※(3)}に対する支援も考えています。高齢者が増えていく中でなんとかしなくてはいけない地域の課題。若い方がボランティアで関わってくれるとうれしいですね」とにっこり。

住民のみなさんが利用しやすい環境づくりを目指しながら、里山のくらしと人のあたたかみを分かち合い、地域のにぎわいを生み出す「てま里」の取組。今後も楽しみです！



交流スペース「てま里」で開かれる「そば打ち体験」とチームで俳句などを作る「オトナの言葉遊び」の様子。ほかにも、いろいろな企画が催されています。

※(3) 買い物難民

交通や流通機能の弱体化で食品や日用品を買えない人々を指す。



地域内外の方が「てま里」につどい、世代や地域を超えた交流が育まれています！

連絡先 **てま里**

〒683-0201 西伯郡南部町天萬897
TEL 0859-21-1527
※受付時間 11:00~21:00 (水曜日をのぞく)



ホームページ



ツイッター



Instagram

私たちの活動を紹介します

鳥取市

城北ファミリーバンド

寄稿：代表 帖佐 順子さん

< Facebook >

<https://www.facebook.com/>



< 設立年 > 平成 16 年

< 会 員 > 22 名。楽器の経験年数も年齢も様々、
幅広いメンバーで活動しています。



演奏会後に、みんな笑顔でパチリ！

音楽は私たちの生活の中に溶け込んでいる

いつの時代も生活の中には歌があり、音楽が流れ、人々を元気づけたり癒したりしてきました。しかし、生活に根付いているはずの音楽が、少し敷居の高いものと思われています。私たちは、多くの人が音楽の楽しさを体感し、音楽がもっと身近なものになるようにという思いで活動をしています。また、地域に根ざした活動を続けることで、希薄になりがちな地域の交流と活性化の一端を担いたいと考え、鳥取市城北地区を中心に鳥取市周辺で演奏活動をしています。

聴くだけじゃない、楽しんでもらう音楽！

私たちが行っている「参加型演奏会」では、歌ったり踊ったり、時には打楽器等を使用して私たちと一緒に演奏に参加し、音楽を「体験」していただけます。体験することで、音楽は楽しいものであり、身近なものであるということを感じていただければと思っています。



流行もお客さんの心もキャッチ☆☆

昨年開催した結成15周年記念コンサートでは、会場に入りきれないほどたくさんのお客様に来ていただきました。その際、『Foorin』が歌う、NHK2020 応援ソングの「パプリカ」を演奏したのですが、小学校や幼稚園でも人気の曲なので、来てくださったお子さんたちは大変喜んで、大きな声で歌いながら一緒に踊っていただきました。「パプリカ」を初めて聴く方もいらっしゃったと思いますが、バンドメンバーによるダンスに合わせて踊っていただき、会場全体が一つになり楽しい時間を過ごすことができました。

音楽が持つ力を信じて

福祉施設などでは、ますます私たちのような活動のニーズが増えています。訪問先の職員の方から、演奏を聴かれた利用者さんに普段見られない反応があったことをお聞きすると、改めて音楽の力を実感します。

音楽を楽しむ機会がどの方にも平等にあるよう、また音楽によって人々の生活が彩りのあるものになるよう、音楽が持つ力を信じてこれからも活動を続けていきたいと思っています。

□コミによって活動の場を広げ、
様々な場で演奏活動をさせて
いただいています。

【現在の活動内容】

- ◆小学校・幼稚園などの行事での演奏
- ◆高齢者施設の行事やデイサービスでの演奏
- ◆地区有志の会などでの演奏
- ◆城北地区の行事への参加

